

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院・昭和大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

膵線維化と膵切除後膵液漏及び耐糖能異常の臨床病理学的検討

1．研究の対象および研究対象期間

昭和大学藤が丘病院にて膵切除術を受けられた患者さんが対象となります。

サンプリング期間 2015年1月1日 ~ 2024年6月30日

2．研究目的・方法

膵切除後の合併症として、切離断端や膵管吻合部から膵液が漏れ出る膵液漏があります。このリスク因子として、膵臓の硬さが挙げられていますが、主観的指標であり、客観的な評価方法は確立されていません。また、膵臓を切除したことによって内分泌機能低下をきたし、耐糖能が悪化することがあります。このように膵臓が原因で糖尿病をきたした状態を膵性糖尿病といいますが、明確な診断基準が存在しません。

私たちは術前の膵臓の造影 CT 画像から計算する線維化予測値と膵臓の組織を照らし合わせてこれらの客観的指標を作成すべく今回の研究を計画しました。

新たな指標の開発のため、既存の切除病理検体に特殊・免疫染色を施行して膵臓の線維化と外分泌機能・内分泌機能の評価を行います。

3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027年 3月 31日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、既往歴、家族歴、生活歴、癌の進行度、組織型、化学療法の有無とその種類、併存疾患、血液検査、超音波検査、CT検査、MRI検査、内視鏡検査、手術日、手術時間、出血量、切除検体病理所見、合併症、術後入院期間、生存期間

5．外部への試料・情報の提供

昭和大学藤が丘病院で膵切除を受けた方を対象としますが、既存の切除病理検体の特殊・免疫染色は昭

和大学医学部臨床病理診断学講座（旗の台）で行います。

6．研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和大学藤が丘病院 氏名 中村明弘

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院 臨床病理診断科/消化器・一般外科 氏名：中村 明弘

住所：横浜市青葉区藤が丘 1-30

電話番号： 045-971-1151(代表)